

新小学校学区案に対するテクノパーク桜各区住民からの意見（2021.10.31迄に寄せられた分）

現在の住所であるウェルネスシティつくば桜に引越してくる前に、栗原小から車で走行して距離を測ったことがあります。片道2kmどころか、3kmほどあったと記憶しています。また、途中に樹木が生い茂っていたり、歩道が狭かったり、安心して子供を通わせるには不安があります。さらに、新しい小学校が学区内に新設されるということも、ここに引越する理由のひとつでもありました。ウェルネスシティつくば桜で開催された市長との懇談会でも、毎年のように話題になっていたはずで、新小学校への学区追加を、強く希望します。

特に以下の理由により、少なくともテクノパーク桜地区は新小学校の学区にしてほしいと考えています。

- 1 通学の負担軽減：栗原小学校に通うよりも通学距離が大幅に縮減されるため、多数の児童の負担が軽減されます。
- 2 通学の安全性の向上：新小学校付近は商店が多く、広い道扱いなので地域の目も届きやすく犯罪の抑制力はより高いと思います。
- 3 災害リスクの低減：栗原小学校は桜川の浸水想定エリアとなっており、高台に位置する新小学校の方が水害に遭うリスクが低いと言えます。

栗原小学校の児童数は、春風台地区を除くとテクノパーク桜地区が最も多いと思いますが、既述1から3までのメリットはより多くの児童が享受すべきものと考えます。

また、春風台地区は新小学校の学区になることが予定されていますから、将来的に栗原小学校はテクノパーク桜地区の児童がほとんどになると思います。そうすると、栗原小学校には既述1から3までのメリットを受けられない児童がほとんどということになりいかにも不合理に感じます。

既存施設の老朽化や周辺児童数の減少の観点から、将来的には栗原小学校を廃止して新小学校に統合するという議論は避けられないと思います。計画の段階からテクノパーク桜地区を新小学校の学区にすることで同地区の児童の学習環境をよりよく整備していただきたいと考えています。

なお、本筋と離れますが以下を心配しているの、念のため記載させていただきます。

このような新設の小学校にかかる学区の決定に関しては暫定措置（妥協案）として新小学校開校後の数年間についてのみ学区を選択制（どちらの小学校に通うか保護者が選択する制度）とする場合があるようですが、それは避けるべきと考えています。市内の他校の例から、その場合には新小学校を選択する保護者がほとんどになるようです。その時はそれでいいとしても、暫定期間が終了した後、いわば将来世代の児童が旧学区の小学校に通わざるを得ないことになり、問題を先送りしている感があります。また、兄弟がいる場合には暫定期間終了後であっても弟妹は兄弟がいる小学校を選べるようにする場合がありますが、そうであっても、例えば兄弟がいる児童は新小学校、兄弟がいない児童は旧小学校という場合が想定され、隣同士のお家であっても別々の小学校に通うという場合が出てきます。これは地域コミュニティの分断に繋がりがかねないかと危惧します。

この新小学校設立を見越して引っ越して来たので原案で学区外になっているのは残念です。同じような考えで引っ越して来た方も多いと思うのでこのまま原案が通ってしまうとウェルネスシティ桜の住人の減少や、テクノパーク桜の高齢化に繋がりがかねないのではないのでしょうか。

栗原小には、今すぐバスに通学にさせること。

通学路の安全確保、熱中症対策が必要。何かあった場合、市は責任を取ってくれるのか。真夏の暑いときに、市長および責任者は子供と同じ早さで歩いて学校まで往復して確認すること。

1日24時間しかない子供の大切な時間を、どれだけ通学に使わせるのか。

ハウスメーカーからは新小学校開設があることを伺っていたので、今だに小学校ができていないのは、騙されたと思っている。

宅地ができれば子供が増えることはわかっているのに、なぜまだ小学校ができていないのか。どこが宅地の許可を出すのか。

市はみどりのや学園の森優先で、こちらを見ていない。対応が悪く遅すぎる。

栗原小へ2km、新小へ1km。安全面を考えても新小への学区へ追加されるべき。

新小の土地の広さが余裕を持って取得できているのならば、春日や学森のように開校数年はどちらに通うかは選択制にしてもよいのでは？

2020年に引っ越して来ましたが、春風台に新学校建設予定の話に期待をして参りました。やはりこのエリアが新学校設立エリアに隣接しており、栗原小への通学と比較し距離も時間も短くなるのに、対象外とされるのは合理性を欠くと思います。児童のみでの通学は、低学年であればある程長距離は難しいと思いますし、送迎するにしても今度は学校周辺の交通事情が悪くなり、危険も増します。何より、学校生活を送る校舎などの状況も良くないとあっては、直ぐ近くに出来る学校に通う方が、遠くて危険な道のりを辿る学校へ通うよりも、児童にとって安全であると考えます。まして、8割が桜・春風台地区からの通学という時点で、桜・春風台に学校ができるのであれば、そのエリアに住む児童はそちらに通う方が様々な観点からも合理的ではないでしょうか。長期的な発展、今後の開発等も踏まえ、通学エリアの再考(特に桜地区の編成)を願っています。

児童の安全確保が第一優先です。新小学校への通学を強く希望します。

中根・金田台地区小学校通学区域への追加を希望します。通常、小学校立地場所から一定距離範囲にある地区・区画を通学区域と設定するものと考えますし、逆に現案の南端地域からの通学を考えると、新設小学校への距離も遠く、九重小学校への通学区域とした方がより安全だと感じました。また、令和9年の想定人数を拝見しても、新規小学校への集中が過度に見られるため、人数分配の点に関しても原案に疑問を抱いております。

新学区希望が通らない場合、栗原小までの通学路整備、スクールバス導入希望

栗原小から近い春風台か新学区に入ってるにも関わらず、栗原小から遠いウェルネスシティ桜が外される理由が分からない。

新しい学校が自宅から近い所に新設されるのに、何故わざわざ遠くて通学路が危険な栗原小学校に子供を通わせなければならないのか理解に苦しみます。

ウェルネスシティ桜には多くの未就学児や小学生の子供がいて、ここに家を住んでいる人の中には新しい学校が出来ることを期待している方も多くいるかと思えます。このままの案でいけば、そういった方達を失望される事になると思えますがつくば市はこれをどう捉えるのか意見が聞きたいです。

まず最初に、今回の決定案は裏切られた気持ちで非常にショックです。近くに新しい小学校が建つという話があったから今の場所に家を建てたのに、この仕打ちは詐欺にあった気分です。家を建てるのにかかった費用+感謝料を支払って欲しいです。この家からは栗原小学校(約3km)より、新しく建つ小学校(約1.5km)の方が明らかに近いのに、学区から外されるのには納得がいかないです。約倍の距離ですよ?何をもち学区を外されたのか理解できません。どちらに通うのが、子供と保護者にとってより安心で安全か一目瞭然の事実があるのに、その安全と安心を脅かしてまで学区外にした理由を目の前で説明して欲しいです。一度自分達でも約3kmもあるあの狭くてアップダウンのある危険な通学路を歩いてみてはいかがでしょう?今回の決定は子供と子供を持つ保護者の気持ちを全く無視したものであるため、早急に見直しをお願いしたいです。栗原小学校は春風台の方が近いし、さくらの森は栄小の方が近い、流星台は九重小の方が近いはず。これらの事実があるのに、この3つが新しい小学校の学区なのはおかしいです。この3つは地区は広いですから、場所によっては新しい小学校の方が近いのかもしれませんが、地区ではなく距離で考えて欲しいです。例えば、新しい小学校から半径2km圏内が学区になるなどの方がよっぽど子供達のことを思いやった学区案になると思えます。もしくは、せめてどちら行くか自由に選べるなどして欲しいです。

栗原小学校は、ハザードマップにおいても、浸水区域に指定されており、新設された浸水区域外の小学校への児童数を増やすべきと考えます。さらに、栗原小学校は、通学距離も長すぎます。

小学校が新設される可能性が高いと言われたことも、この土地の購入を決めた理由のひとつでした。また、全国での通学路の整備不足による痛ましい事故を考えると、より近く、安全が確保された小学校に行かせたいと強く考えます。

第一に子供達の負担を考えて頂きたいです。実際に歩いて登校するのは子供達です。安全、距離等を含め近くに新学校があるのに遠い学校まで毎朝行かなければならない子供達の気持ちを第一優先で考えて下さい。

児童の安全を優先に考えて再度、原案を審議して頂きたいと思えます。

新しく小学校ができると聞いて、引っ越してきました。その話がでてはなくなり、振り回されると感じています。子供が二人おりますが、栗原小は小学校1年生にはとても遠く、通学路も安全面において不安です。どうか、新小学校の学区にいられたらと思います。

通学距離が長い朝も早く、午前中で疲れて集中できていない様子が見受けられます。通学路は直接距離が長く2トントラック等がスピードを出して走行します。人の目が少ないことも気になっています。

仮に学区にならなくても、越境する人が多くなると思います。それ程、栗原小は遠い。

ウェルネスシティの土地を購入するにあたり小学校までが遠いことや狭く舗装されていない通学路を歩かせることは大きなネックでした。しかし近くに小学校が建設される予定だと聞き、その問題は解決されたと思っており、安心して土地を購入したところ今回のお知らせを聞きとてもショックを受けています。栗原小学校よりもはるかに近い場所に小学校ができるのに通えないというのは子供にとって大きなマイナスだと思います。新設の小学校への通学を強く希望します。

- 学区は画一的な決め方ではなく、総合的な見地から決めるべきで、その観点では桜地区は新小学校の学区に入るのが自然。
- 新小学校に距離的に最も近く、ハード的にも立地的にも災害に対して脆弱な栗原小学校は廃止し、新小学校に集約すべき。
- 上記が実現されなくても、少なくともどちらの小学校に通うか、選択制を導入すべき。
- 栗原小学校は洪水時以外の避難所となっているが、地震などの避難時に洪水が発生する可能性もあり、避難所として不適切である。また、洪水時に避難所として使えないような場所に学校があることも問題で、洪水予測が困難な中で学校等の判断で早急な避難ができるとは思えない。このような点でも、上記の通り新小学校に集約すべき。
- 将来的に中学校の併設を検討しているようだが、現在のつくば市の方針からすれば最初から小中一貫校にすべき。桜中学校も老朽化が進む上、敷地的に増設不可であることから近い将来の不都合は目に見えており、先行して対応すべき。
- 開校までのスケジュールに余裕がないが、学園の森小中一貫校のように突貫工事による雨漏りなどが発生しないよう、しっかりと工程管理と点検を実施して頂きたい。

学区に入れないのであれば、栗原小か新しい学校かの選択制にしてほしい。

桜一丁目に住んでおり、現学区内の栗原小学校までの通学路を何回も下見しましたが、途中道路が狭く危険を感じる箇所があり、通学時間も子供が歩く距離としてはとても遠く防犯の面からも危険性があると感じました。これから子供を通わせる身としてはとても不安です。新小学校の学区であれば全て解消出来ると感じます。新小学校の学区への追加を是非検討して頂きたいと思います。

ウェルネスシティつくば桜への居住開始時点で新設小学校の話があり、当地区の児童が対象になると聞いていた。また、市長懇談会でも新設小学校についての話があり、既定路線と理解していた。現時点での学区割りを見直し、当地区の児童を新設小学校の学区割りに加えることを希望いたします。

栗原小学校では通学距離が2kmを超えることから、児童の安全、特に低学年児童への負担を考えると新小学校の学区に振り分けてほしい。

学区原案の地図を見ても、流星台やさくらの森の一部地域の児童は現状の九重小学校、栄小学校への通学ままの方が距離が短い。そのような地域が新小学校の学区になるにも関わらず桜地区などの近い地区が学区から外れるのは納得できない。児童の安全・負担を考えてもう一度学区の振り分けについて見直してほしい。

もし近隣の新しい小学校に行けないのであれば、スクールバスをだしてほしい。学校が古く通学が遠いでは同じつくば市民として不公平だと思う。

通学距離の近い遠いよりも、安全に登下校出来ることが重要です。栗原小学校区のままとなったとしても、通学路の改善や通学バス等の整備が行われ、安全に登下校できるようになることを期待します。新小学校は近距離で魅力的ですが、栗原小のような設立から100年を超える伝統がある学校に子どもが通うことも、十分魅力的と考えています。

ウェルネスシティから栗原小までの通学路で街灯が少なく危なく感じる場所があります。新たな小学校での安心できる学びの場所であるならば希望したいです。

昨今洪水などの災害も多く、突発的に発生した場合に栗原小若くは近隣施設に避難するリスクが高く、不安を感じます。

また、洪水時は今小学校の人数+近隣の方達を桜老人福祉センターで受け入れる事は可能なのでしょうか？

しかも、栗原小近隣の方は同施設に避難されるのでそちらで合流可能ですが、テクノパーク桜地区から迎えに行くのはリスクが高いと思います。

同様に、新学校が新たな避難所となると想定されるので、避難時に合流する事が可能になります。

栗原小の人数が減少して維持が困難になる事は理解出来ますが、通学路も距離があり、坂道や車の通りも多いので、安全に通学出来る場所に学校があるのならそちらに通わせたいと思います。

共働き世帯が大多数のご時世、小学生の通学の負担軽減はとても重要だと思います。小1の壁という言葉もあるとおり、小学校に上がる年の保護者の負担はとても大きいです。このあたりは他の地域から移り住んだ核家族、実家が遠方で祖父母に頼ることが出来ず夫婦2人で協力して育児を行っている家庭がとても多く、そのような家庭のためにも、新小学校への入学を強く希望します。

市長も子どもがいるのだから気持ちがよく分かるのでは。SDGsを掲げるのであれば実際に行動に表してほしいです。旧桜地区が学区を外れるような事があれば現市政には味方出来ないでしょう。

現状、通学距離が長いために徒歩で下校する児童が極めて少ないです。送り迎えをする父母の負担増加の原因となり、学校周辺での交通事故の危険性も高まっているので、栗原小の学区の一部を新設校に組み入れるなど、児童数を減らすための検討を進めるべきだと思います。

将来、もし学区への追加が認められないにしても、少なくとも指定学校変更可能区域に指定を希望します。

また、中学校の建設の可否の議論もお願いしたいです。中学校の施設老朽化は、平成26年改訂のつくば市学校等適正配置計画より問題とされており、令和3年の計画では軽視されているように感じます。

また、市に回覧板などで付近に住民への周知をもっと積極的にするよう申し入れていただけますと幸いです。市のホームページでこっそり公表するだけで、近隣住民には周知しない、では市民を軽視しすぎかと。

私たち家族は、この地区に新小学校の建設が決まったことを理由に引っ越してきました。引っ越しをする際、栗原小への登校が遠方であり、かつ安全性が低いことは心配していたことでしたが、新小学校ができるということで、安心して引っ越してきました。当時、市長は懇談会でこの地区も新小学校に通わせることを約束してしていました。このように私たち家族と同様に考えている家庭はたくさんあると思います。

しかし、日が経つにつれ当時の予定と変わっていき、ついにはこの地区だけ省かれ、現在は裏切られたような気持ちとともに絶望感でいっぱいです。

子供たちの安全の確保や教育環境を整えることなど多面的に考慮し、多くの児童を新小学校に通わせることは最重要事項です。この地区の児童を除くことは誰も決して望んでいません。

どうか子供たちの命や明るい未来のために、この地区も新小学校学区にして下さい。子供たちを最優先に考えていただき、進めて下さるように強く強く願います。

前々から新小学校の建設の話は伺っており、子供の将来を考慮して現在の土地を購入しました。恐らく同じように考えていた家庭は多いのではないのでしょうか。普通に考えたら、新しい住宅地に住んでいる人は新小学校へ入れると思うかと思いますが。市として大々的に小学校が出来るとアピールをして、住民を呼び込んでいたのにも関わらず、新小学校へ入れないとすると詐欺に近いものがあるかと…不信感が募るだけです。そもそも、これだけ宅地を売り出しているのにも関わらず、小学校建設が決まるのが遅いかと…

色々事情があるかと思いますが、一番守らなければならないのは子供の安全ではないでしょうか？子供に対して何を一番大切にしなければならないのかを考えるのが、あるべき姿な気がします。長い目で見ても、子供達が、この場所で育って良かったと思える環境であれば街の資産価値にも繋がるはずです。

学区の適正化というのは、児童数の平均化ではなく、児童にとって近く通学に安全な場所であることだと思います。通う児童の立場で考えてほしいです。

小学校に通う子供はおりませんが、近隣に小学校ができることは歓迎します。今回の案では特に、テクノパーク桜地区から栗原小学校に通う通学路と春風台から新小学校への通学路が交差しており、合理的とは思えません。

※ PCでアンケートを記入しやすいよう、今後はQRコードだけではなく、URLも載せていただくと助かります。

小学校低学年が約3km徒歩で重いランドセルを背負って通学する事が異常だと思います。他地区の先生からは、3kmは中学生だったら自転車通学の距離ですよと言われました。

上記、すべて当てはまりますが、最も優先していただきたいことは、児童の安全確保です。交通安全はもちろんのこと、不審者の現れにくい通学経路、登下校で困ったことがあっても店や地域の人に助けを求めやすい環境を強く求めます。

児童の安全確保に伴う学校建設の必要性があり、子供たちの存在が活気ある街の持続には大切な存在だと思います。

ただ、各新地区においても旧地区同様、ほぼ1戸建てがほとんどの状況なので、児童の増加は一過性のようには思います。宅地増加だけでなく、駅までの利便性などを高めていただけると、成長に伴う行動範囲の拡大において活気ある街の持続になる気がします。

2023年度に栗原小に入学する子どもがいます。やはり、通学までの距離や交通状況を考えて毎日送り迎えをしないと心配です。児童の安全のために近い小学校に通わせたいです。

小学校の選択制を希望

春日学園が開校したときに、葛城小のほとんどの児童は、春日学園に転校したが、希望制で葛城小に残った児童もいたと思います。同様に家庭や本人の希望を尊重したほうが良いと思います。

22年前にここに土地を買う時に、不動産屋さんに学校が遠い事だけが問題と言われました。私達には関係ない事だったのでスーパーが2つあり、コンビニも2つ、本屋、DVD屋、ドラッグストアととても便利で、とても高い土地（坪単価44万円）でしたが、購入しました。（今では様子が変わりましたが）その頃から、栗原小学校への道のりはとてもあぶないと感じていました。交通量のわりに歩道も狭く、先日の千葉県でトラックでの事故の事など考えると、近くて親の見守りもし易い新しい小学校に通学できるように願っています。（個人的な意見で3は問題がぶれるような気がします。子供の安全が一番大切）

子供の安全を第一に考えるべきだと思う。通学距離が短ければ、子供の負担もへる。自然災害時なども、距離が近ければ、親が早く迎えに行けると思われる。

通学路が長距離のため、危険がいっぱいでした。特に、下校時は（元気な子供達がいたため）、祖母が見守りに行ったりしていました。安全確保、保護者の負担軽減のためにも、必要だと思います。

大雨や台風では、距離や交通量（大型トラックやスピードをだす車）から送迎しています。本来は歩いて通わせたい所ですが、小学生には非常に厳しい通学路です。また、警報級の大雨でも学校に通わせることが不安です。児童の安全面から、新小学校への学区を強く希望します。

児童の通学距離をベースに校区を決めて欲しい。多くの桜住民は新校に桜がはいると長年期待していました。

未就学児が2名います。栗原小までの道のりが遠く、交通量も多くて道幅の狭い通学路は不安に思っています。中根・金田地区の開発に伴い新小学校建設の予定があることを前提に桜2丁目に越してきました。新小学校開校までは子の車での送迎や通学路での見守りも致し方ないと思いましたが、今回学区外ときいて驚いています。新小学校への方が通学距離も近く歩道も整備されています。子供の安全安心を第一に学区の決定をお願いします。

・栗原小学校への児童が増加し、そのうちの約8割が桜・春風台に住んでいる世帯なのにもかかわらず、何故春風台が新しい小学校の学区に入り桜地区が除外されるのか理解に苦しみます。
・ウェルネスシティに住んでいる世帯の中には多くの未就学児がいることや、この先も児童の増加が容易に想像でき、新しい小学校が出来ることを期待している方も多くいると思います。このまま原案のまま新小学校へ学区が追加されないのであれば、多くの方が失望し、自分の子供を遠く離れた通学路も危険な栗原小学校へ通わせればならなくなり心配事も絶えず生活していかなければならないと思います。

・原案を見る限り、こういった基準で学区の線引きを行ったのか分かりません。栗原小に近い地区（春風台等）が選ばれ、桜地区等明らかに新小学校の方が近い地区が除外されているのか納得がいきません。

〈意見書〉

まず第一に、今回の決定案は裏切られた気持ちで非常にショックです。近くに新しい小学校が建つ予定であると聞いていたからこの場所に家を建てたのに、この仕打ちは詐欺にあった気分です。ショック過ぎて感謝料を払って欲しいくらいです。

この家からは、栗原小学校（約3km）より新しい小学校（約1.5km）の方が明らかに近いのに、学区から外されたことが全くもって理解できません。約倍の距離の違いがあり、どちらに通うのが子供と保護者にとってより安全で安心か一目瞭然の事実があるのに、その事実を脅かしてまで学区外にした理由を、ウェルネスシティ桜の住民の目の前で説明してください。一度自分達でも、約3kmあり、狭くて曲がりくねった、アップダウンのある危険な通学路を毎日歩いて考えてみてはいかがでしょうか？今回の決定案は、子供達の安全と安心を願っている保護者や、実際に遠く離れた小学校へ通わされる子供達の気持ちを踏み躪る愚案であるため、早急に考え直すことを強く要求します。

栗原小学校は春風台の方が近いし、さくらの森は栄小の方が近い、流星台は九重小の方が近いはずなのに、この3地区が新しい小学校の学区なのはおかしいと思います。ウェルネスシティ桜の方がよっぽど新しい小学校に近いはず。上記の3地区は広いですから、場所によっては新しい小学校の方が近いかもしれません。なので、地区ではなく距離で考えて欲しいです。例えば、新しい小学校から半径2km圏内が学区になるなどの方が、よっぽど子供達を思いやった学区案になると思います。もしくは、せめてどちらに通うか自由に選べるなどして欲しいです。賢明な判断を期待しております。

何よりもお子様達の通学への安全確保と災害回避を第一に、進めて頂きたいと切に希望致します。

通学路での子どもの死亡事故が全国でも問題になっており、栗原小までの通学路の安全確保がされておらず、もし子どもが事故に巻き込まれたらと思うと心配しかありません。

かねてより桜地区も小学校が近くにできるとの事で購入を決めているところもあり、早く学校ができてほしいと思っていたのに対象外になってしまっは、桜地区で家を建てた意味もありません。新小学校への学区追加を強く希望致します。

子供が小さいので通学ルート等によくわかりませんが、やはり遠いことが不安です。このまま栗原小への通学とするのであれば、スクールバスを希望します。

この地に居住を決める際、ハウスメーカーからも新しく学校ができる話を聞いており、大きなポイントの一つでした。ぜひとも学区追加をお願いしたいです。

流星台などより遥かに近いのにわざわざ遠くの学校に追いやる理由はないかと思う。日本全国で近くの安全な学校より遠くて危険な学校に通わせる自治体があるだろうか。ましてや教育日本一を掲げているつくばで。

桜1～3丁目を外すことは今後にも色々と遺恨が残ると思うので、賢明な判断をお願いします。

通学する子供達の安全性・利便性を考えて、学区割りをして頂きたい。

2倍以上の距離のある小学校へ通わせるなど考えられない。

住宅や学校の建設に計画性が不足している。街や学校や住民を「使い捨て」にせず、計画的な建造と維持をお願いしたい。